

タイトル： 地域貢献事業として認知症状改善塾の取り組み

キーワード

自立支援ケア

認知症

地域貢献

【施設名】：特別養護老人ホーム 和幸園（特養）

研究者 (取組に関わった方 のお名前5名まで)	氏名	職種	備考
	① 大沼 百合子	施設長	
	② 星野 八重子	生活介護係長	
	③ 吉田 司	相談係長	
	④ 川上 志津	生活介護係長	
	⑤ 杉田 隆介	主任生活相談員	

施設の概要

※ここに記載した内容のうち、発表内容に直接重要な関係を持たない事項については、本資料をもって発表の際の説明から省略してください。

設置主体	社会福祉法人 北海道ハピニス	経営主体	社会福祉法人
開設年月日	昭和50年	所在市町村	札幌市
市町村人口	1,941,127 人	65歳以上人口 (高齢化率)	484,467人 (高齢化率 25.0%)
利用者定員数	120 人	利用者平均年齢	86.79 歳
職員数	144 人	職員数内訳	介護職 109名 看護職 7名
併設施設・事業	通所介護、障害者支援施設、生活介護事業所、相談支援事業所		
施設のサービスの概要	特別養護老人ホーム和幸園では、自立支援と尊厳を守ることをケアの二本の柱として、専門性ある介護により利用者様の潜在能力を引き出し「普通の生活の継続」を実践しています。		

発表の概要

<p>①取り組んだ課題 特別養護老人ホーム和幸園では、介護力向上講習会で学び、基本ケア（水・食事・運動・排便）に焦点をあてた自立支援ケアにより、認知症状に多くの改善がみられた。そのノウハウを在宅で認知症の方を介護している家族に伝え、在宅生活が長く続けられるように支援する。</p> <p>②具体的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に回覧板等で塾生を募集。 ・塾は月に1回開講し、6ヶ月で終了。 ・宿題として、1週間の水分量や活動量、排便状況等を記録 ・第1期平成27年7月から12月に実施（塾生10名） ・第2期平成28年4月から9月開講中（塾生18名） 	<p>③活動の成果と評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症状の改善が多くみられた。 ・塾生同士が悩みを共有することで、絆が深まり終了後も交流が生まれている。 ・塾生が認知症や介護保険制度の知識を得ることで、介護負担の軽減につながった。 <p>④今後の課題</p> <p>介護する家族が高齢や病気等により、基本ケアの実践や宿題を正確に実施できない場合の支援のあり方や、認知症状の改善については5件法で毎月塾生に提出していただくが、数値で計れるものでなく、塾生の主観によるものになってしまう。また、認知症状改善塾での効果を広く周知し、基本ケアの重要性を多くの方に知っていただき認知症の改善につなげていきたい。</p> <p>⑤参考資料など 小平めぐみ（2013）『介護の生理学』竹内孝仁監修 秀和システム</p>
---	--